

第48期 通常総会資料

開催日時 令和5年9月15日（金）13:00～14:00

開催場所 名古屋マリオットアソシアホテル

議案審議

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算関係書類承認の件

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算（案）承認の件

第3号議案 令和5年度経費の賦課金及び徴収方法承認の件

第4号議案 令和5年度借入金の最高限度額承認の件

日本工業塗装協同組合連合会

〒104-0014 東京都港区芝五丁目31番16号 YCCビル9階

電話 (03) 6809-5318 FAX (03) 6809-5368

【第1号議案】

令和4年度事業報告書

自 令和4年8月 1日

至 令和5年7月31日

I 概況

令和4年度は、オミクロン株 BA.5 による新型コロナウイルスの第7波の感染拡大の中で活動が開始された。その後も、第8波の感染拡大を迎えたが、感染拡大3年目になり、漸く、ウイズコロナの機運の中、経済活動が再開されていった。そして、令和5年5月8日をもって、感染症法上の5類に格下げされ、行動制限にない日常が取り戻すこととなった。

しかし、各国の急激な経済活動回復の思惑、なおも続くコロナ影響によるアジア諸国の生産工場稼働率の低下、輸送、流通の混乱などにより、日本国内では、自動車をはじめとする産業機械、汎用品などで、多くの原料や部品の供給が滞ることになり、国内工場の生産に影響を与えた。さらに追い打ちをかけるように、ウクライナ紛争の長期化や台湾問題など政情不安がつづき、結果的に、燃料、原材料の価格が急激に上昇し、あらゆるものの値段が上がってしまうという状況に陥った。

私たち工業塗装業界も、その影響を大きく受けた年であった。しかも、現状でも価格上昇は続いており、顧客への価格転嫁が追い付けない状況にある。

当連合会実施の直近の景況調査の状況を見ると、昨年度に比較して、売上、設備稼働率は上昇し、価格転嫁により販売価格も上昇しているものの、収益は悪化している会社が多くなっている。さらに、前月比でも収益が悪くなる状況は続いている。

そのような中でも、当連合会、傘下各地域の組合員は、価格転嫁活動もしつつ、社員一丸となって創意工夫しながら、自社塗装の効率化、省力化に努めてきた。

一方で、組合員の増強と後継者育成を目的とした「工業塗装ともの会」の活動の一環として、誰でも参加できる座談会も2か月に1回のペースで続けてきた。さらに、各地区での塗装コンクールや技能検定の実施などの活動も実施してきた。

来年度も、厳しい状況は続くと思われるが、全組合員一丸となって、現状を打破し、組合活動の活性化に尽力したい。

II 庶務事項

1. 会員数及び出資口数

(出資1口の金額：10,000)

出資口数	前年度末現在		期間中変動				本年度末現在	
			加入		脱退			
	会員数	出資口数	会員数	出資口数	会員数	出資口数	会員数	出資口数
10口以下	2	14	0	0	0	0	2	14
30口以下	1	18	0	0	0	0	1	18
60口以下	1	56	0	0	0	0	1	56
60口超	2	161	0	0	0	0	2	161
計	6	249	0	0	0	0	6	249

2. 会議開催の概要

(1) 第47期通常総会

開催日時：令和4年9月16日（金）15：00～16：30

開催場所：WEB会議システム（Teamsによるバーチャル開催）

発信場所：日本工業塗装協同組合連合会 本部

出席組合員数：6人（内訳：WEB出席5人、書面出席1人）

出席理事：本人出席（1名）、WEB出席（13名）、書面出席（11名）

議案及び議決の内容

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算関係書類承認の件（原案どおり承認）

第2号議案 令和4度事業計画案及び収支予算案承認の件（原案どおり承認）

第3号議案 令和4年度経費の賦課金及び徴収方法承認の件（原案どおり承認）

第4号議案 令和4度借入金の最高限度額承認の件（原案どおり承認）

第5号議案 任期満了に伴う理事及び監事選挙の件

以下、全員異議なくこれを当選者と可決決定した。

理事 高橋正、山田和弘、樋口一夫、村田範浩、五十嵐亨、吉川孝、岡田勇一郎、小柳拓央、林幹敏、堀口たか子、石川政男、辻涼樹、坂本潤一、瀬戸裕昭、堀切義昭、妹尾和彦、藤木裕二、稲垣秀樹、西薫貴、加藤雅俊、川西正克、原谷隆清、黒坂俊之、大内田昭次、小畑啓介、稲田健、田村啓太郎

監事 岸太郎、小川琢也

(2) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案
1	令和4年8月24日 工塗連 本部事務所 WEB会議	25 WEB 12 書面 13	1. 第47期通常総会提出書類の承認について 2. 改選理事監事の人員数と選出方法について 選出役員は27名とし、指名選挙とする。 3. 第47期通常総会と2022年全国大会開催の件 全国大会は中止とし、総会はWEBとする。 4. (一社)国際工業塗装高度化推進会議(IPCO) への団体加入の件 加入とする。
2	令和4年11月17日 新横浜グレイスホテル リアル出席、WEB出席	24 リアル 11 WEB 2 書面 11	1. 令和4年度(8月～10月期)収支報告について 2. 常任理事選任の件 3. 年間スケジュール 4. 各委員会の委員長、委員の選任
3	令和5年2月16日 新横浜グレイスホテル リアル出席、WEB出席	26 リアル 11 WEB 7 書面 8	1. 令和4年度(8月～令和5年1月期)収支報告について 2. 理事会及び、総会、全国大会の開催日時 開催場所について 3. 大阪マルテー祭(主催:大塚刷毛製造株) への出展について 出展する。
4	令和5年6月15日 新横浜グレイスホテル リアル出席、WEB出席	26 リアル 12 WEB 1 書面 13	1. 令和4年度(8月～令和5年5月期)収支報告と決算見通しについて 2. 第48期通常総会、2023年全国大会の準備について 3. 全国大会工塗連補助金の増額について 50万円に増額する。
5	令和4年9月16日 臨時理事会 WEB会議	26 WEB 17 書面 9	代表理事及び副会長 選出の件 代表理事 会長 高橋 正 副会長 吉川亨、石川政男、山田和宏、 原谷隆清、妹尾和彦、小畑啓介 を決定した。

(3)委員会の活動状況

① 総務委員会

総務委員会は、理事会開催前に、年4回の会合を持ち、理事会の議題について事前審議を行い、審議結果により理事会の議題、内容の修正を行うとともに、その他の懸案事項の審議を行った。

第1回 総務委員会

開催日時：令和4年8月8日（月）15：00～16：30

開催形式：WEB会議

(1) 第47期通常総会議案について

- 1) 令和3年度事業報告及び決算関係書類について
- 2) 令和4年度事業計画書及び収支予算案について
- 3) 経費の賦課及び徴収方法
- 4) 借入金の最高限度額

(2) 第47期通常総会、2022全国大会の開催について

(3) 理事改選枠、候補者について

(4) (一社)国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）への団体加入について

(5) その他

- 1) 「工業塗装ともの会」活動報告 第5回座談会報告
- 2) ホームページリニューアル分科会進捗

第2回 総務委員会

開催日時：令和4年11月7日（月）15：00～16：30

開催形式：WEB会議

(1) 第2回理事会議案審議

- 1) 令和4年8月～10月期収支報告
- 2) 常任理事選任の件
- 3) 年間スケジュール
- 4) 各委員会の委員長・委員の選任

(2) その他

- 1) 新ホームページ公開について
- 2) (一社)国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）への団体加入手続き終了。
団体会員 120,000円（年間）
- 3) VOC排出量調査まとめ
- 4) 組合員名簿改訂版 12月末発行予定

第3回総務委員会

開催日時：令和5年2月6日（月）15：00～16：30

開催形式：WEB会議

(1) 第3回理事会議案内容について

- 1) 令和4年8月～令和5年1月期収支報告
- 2) 理事会及び総会、全国大会の開催日時、開催場所について
- 3) 大阪マルテー祭（大塚刷毛製造㈱）への出展について

(2) その他

- 1) コーティングコンソーシアムによる工業塗装ラインアンケートの実施について
- 2) 日本工塗連ホームページの運用について

第4回 総務委員会

開催日時：令和5年6月8日（木）15：00～16：30

開催形式：WEB会議

(1) 第4回理事会議案内容について

- 1) 令和4年8月～令和5年5月期収支報告と決算見通し
- 2) 第48期通常総会と2023全国大会の準備について
- 3) 全国大会補助金の増額について

(2) その他

- 1) マルテー祭出展報告
- 2) ホームページの運用について
- 3) 工塗連ニュース 暑中見舞い広告のお願い
- 4) 会員名簿（令和5年度版）の作成について
- 5) 令和4年度VOC排出抑制自主的取組実績調査のお願い
- 6) 外国人実習生に関する意見交換

②技術委員会

令和3年度は以下の活動を行った。

(1) 関東地区塗装技術講習会

コロナ禍での中止が続き、今年度4年ぶりに開催された。

実施場所：アネスト岩田株式会社 コーティングソリューションセンター

【これまでの修了者数】

年 度	修 了 者 数
平成14年度	61名
平成15年度	33名

平成16年度	24名
平成17年度	26名
平成18年度	38名
平成19年度	38名
平成20年度	58名
平成21年度	22名
平成22年度	20名
平成23年度	20名
平成24年度	8名
平成25年度	9名
平成26年度	6名
平成27年度	14名
平成28年度	8名
平成29年度	12名
平成30年度	7名
令和元年度	中止
令和2年度	中止
令和3年度	中止
令和4年度	15名
合計	419名

(2) 中央技能検定会議（全国技能検定 問題作成他）

塗装（金属塗装作業及び噴霧塗装作業）中央技能検定委員会

（日本人向け、金属塗装作業：1, 2級、噴霧塗装作業：1, 2級）

○令和4年8月～令和5年7月における委員会開催履歴

- ・令和4年10月26日 基礎級：塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和4年11月17日 塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和4年11月29日 基礎級：塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和4年12月9日 塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和5年1月11日 塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和5年2月8日 塗装（金属・噴霧塗装作業）
- ・令和5年3月7日 塗装（金属・噴霧塗装作業）

③ 広報委員会

広報委員会は、年間発行される「工塗連ニュース」の記載内容と広告掲載の確認を行っており、その後も議題の検討を行った。

④ 製・販・装連絡会

製・販・装連絡会は、一般社団法人日本塗料工業会、日本塗料商業組合、一般社団法人日本塗装工業会及び日本工業塗装協同組合連合会の4団体により、年4回開催され、情報交換が行われた。

- ・第212回製・販・装連絡会 幹事：日本工業塗装協同組合連合会
開催日時：令和4年12月9日
開催場所：東京塗料会館 B03 会議室
出席者：高橋会長、山田副会長、鈴木事務局
- ・第213回製・販・装連絡会 幹事：(一社)日本塗料工業会
開催日時：令和5年2月17日
開催場所：大阪塗料ビル 第7会議室
出席者：高橋会長、原谷副会長、鈴木事務局
- ・第214回製・販・装連絡会 幹事：日本塗料商業組合
開催日時：令和5年4月21日
開催場所：東京塗料会館 B01 会議室
出席者：高橋会長、山田副会長、鈴木事務局
- ・第215回製・販・装連絡会 幹事：(一社)日本塗装工業会
開催日時：令和5年7月14日
開催方式：東京塗料会館 B02 会議室
出席者：高橋会長、吉川副会長、鈴木事務局

⑤ 「工業塗装ともの会」

- 1) 設立目的の確認：後継者の育成と組合員増強
- 2) 委員長：原谷隆清、副委員長：岡田勇一郎、稲田健、書記：鈴木譲（事務局）
- 3) 開催内容：垣根のないメリットのある魅力あるWEBによる座談会の開催。

座談会開催状況

	テーマ	開催日	参加者
第6回	工業塗装業界における女性の仕事について	R4 9/26(月) 16:00～17:30	委員7名 招待8名
評価	・平成26年11月1日改正の女性労働基準規則で、第3管理区分で、有害物質管理基準濃度以上では、母体保護の観点から女性の就業が禁止となっているため、環境測定が必須である。 ・対象を女性だけでなく、今後は、障がいのある方のための職場も考えなければならない。		

第7回	女性としての働きやすい作業環境づくりについて	R4 11/28(月) 17:30~19:00	委員 7名 招待 3名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・女性や若者が多く応募してくる会社は、従業員に若い人や女性が多く、笑顔があり、一体感も感じられる。 ・女性の心情を理解し、自主性を尊重し、積極的に意見をくみ上げることが、職場全体のモチベーションアップにも繋げることができる。 		
第8回	客先やクレームに係る様々な課題に対する対応策や経験談について	R5 1/23(月) 17:30~19:00	委員 8名 招待 7名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装品の梱包時のキズ、ハガレや仕上り不良については、客先においても曖昧な時がある。検査基準書、限度見本をお互いに確認し合うことが重要である。 ・マスキング（養生）テープ跡については、テープメーカーと相談すべきである。 ・キズ、ハガレなどの塗膜不良の原因と対策の共有化が図られた。 		
第9回	価格転嫁、値上げ交渉に関する議論	R5 3/27(月) 17:30~19:00	委員 8名 招待 6名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・上昇分を明確にすることで、受け入れてもらえる顧客も多い。（大手企業） ・ライン稼働の効率化として、従業員が話し合っ、まとめ生産、集中生産を行う。 ・人のシフトも含めて、「詰める」「寄せる」を常に意識している。 		
第10回	カーボンニュートラル、SDGsなどの環境対応動向と人材に関わる課題について	R5 5/29(月) 17:30~19:00	委員 7名 招待 6名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なことからの取組み。社用車のハイブリッド化、ラインの「寄せ止め」、ガスモレチェック、直行率を上げる取組みなど。 		
第11回	外国人技能実習制度及び技能検定、技能取得者採用について	R5 7/24(月) 16:00~17:00	委員 9名 招待 0名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・メッキ業が特定技能1号の適用分野であるが、同じ系統の業種として金属塗装業が適用でないのは非常に疑問である。 ・人材確保として、特定技能1号の適用分野への登録が必須である。 		

Ⅲ 事業の概要

1. 機関誌の発行等

機関誌「工塗連ニュース」を毎月発行した。開催された総会、理事会等の概要、工業塗装業の景況、月例経済報告、中小企業景況調査報告、新製品紹介、塗料生産実績、工塗連・地区情報のほか、関係行政機関等の情報や関係業界のセミナーその他の情報を「トピックス」、「行政ニュース」等として適時掲載した。

また、各地で開催された工業塗装コンクールの開催内容について紹介された。

2. 2023年全国ジュニア大会

開催日時： 2023年6月2日（金）

開催場所： 田村株式会社 見学

懇親会： アークホテル熊本城前

参加者：高橋会長をはじめに52名が参加した。

工塗連より、支援金10万円が補助された。

3. 日本工塗連 ホームページリニューアル

公開日： 2022年10月1日

4. 他団体等に対する委員選出

①中央職業能力開発協会へ中央委員を推薦している。

②日本塗装工業会への員外理事推薦。

5. 講演会開催

工塗連主催の講演会は、新型コロナウイルス感染により、開催中止とした。

会長および会長代理が参画した主な行事

〈年 月 日〉	〈行 事〉	〈場 所〉
令和4年10月12日	事業報告書提出	東京都庁産業労働局
令和4年11月10日	(一社)国際工業塗装高度化推進会議打合せ	工塗連事務所
令和4年12月09日	製販装連絡会	日本塗料工業会会議室
令和5年01月17日	日本パウダーコーティング協賛詞交換会	第一ホテル東京
令和5年01月20日	埼玉工業塗装協同組合新年会	大宮東天紅
令和5年02月17日	製販装連絡会	大阪塗料ビル
令和5年02月18日	東京工業塗装協同組合賀詞交歓会	浅草ビューホテル
令和5年04月01日	マルテー祭	インテックス大阪
令和5年04月21日	製販装連絡会	日本塗料工業会会議室
令和5年05月15日	日本パウダーコーティング協総会	第一ホテル東京
令和5年05月17日	神奈川県工業塗装協同組合総会	ホテルプラム
令和5年05月19日	愛知県工業塗装協同組合総会	メルパルク名古屋
令和5年05月20日	塗装技術講習会	アネスト岩田(株)
令和5年05月23日	(一社)日本塗料工業会総会	ホテルニューオオタニ
令和5年05月25日	(一社)日本塗装工業会総会全国大会	大分レイブランドホテル
令和5年05月27日	東京工業塗装協同組合総会	浅草ビューホテル
令和5年06月02日	2023全国ジュニア会	アークホテル熊本城前
令和5年06月12日	日本塗装機械工業会総会	ニューオオサカホテル
令和5年07月14日	製販装連絡会	日本塗料工業会会議室
令和5年07月21日	経産省政務官面談	経産省政務官室

貸借対照表

令和5年7月31日現在

(単位：円)

一 資産の部		二 負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現 金	207,701	預 り 金	8,380
普 通 預 金	6,481,481	未 払 法 人 税	80,000
定 期 預 金	577,800	流動負債計	88,380
未 収 金	528,472		
前 払 金	105,980		
流動資産計	7,901,434		
		三 純資産の部	
II 固定資産		I 組合員資本	
(1) 無形固定資産		出 資 金	2,490,000
電 話 加 入 権	122,800	①東京工業塗装協同組合	(930,000)
無形固定資産計	122,800	②神奈川県工業塗装協同組合	(680,000)
		③愛知県工業塗装協同組合	(560,000)
(2) 外部出資その他の資産		④埼玉工業塗装協同組合	(50,000)
外 部 出 資 金	50,000	⑤関西工業塗装協同組合	(180,000)
外部出資その他の資産計	50,000	⑥九州工業塗装協同組合	(90,000)
		II 剰余金	
固定資産計	172,800	特 別 積 立 金	1,629,100
		教 育 情 報 費 用 繰 越 金	1,519,600
		法 定 利 益 準 備 金	1,629,100
		剰 余 金 計	4,777,800
		前 期 繰 越 剰 余 金	759,103
		当 期 純 利 益 金	-41,049
		繰 越 利 益 剰 余 金	718,054
		純資産の部計	7,985,854
資 産 合 計	8,074,234	負 債 及 び 純 資 産 合 計	8,074,234

損 益 計 算 書

令和4年8月1日から令和5年7月31日

(単位：円)

一 費用の部		二 収益の部	
I 事業費		I 事業収入	
外 注 費	1,827,430	広 告 収 入	6,160,000
慶 弔 表 彰 費	120,000	保 険 集 金 事 務 収 入	295,124
ジュニア会補助金	100,000	購 読 料 収 入	65,664
製販装連絡会費	112,612	講 習 会 受 講 料	20,180
総会全国大会費	0	事業収入計	<u>6,540,968</u>
研修会開催事業費	200,000		
塗装技能大会補助金	150,000		
事業費計	<u>2,510,042</u>		
一般管理の部		II 賦課金等収入	
II 一般管理費		賦 課 金 収 入	3,586,000
給 料	2,857,067	賦課金等収入計	<u>3,586,000</u>
賞 与	700,000		
通 信 費	632,434		
事 務 用 品 費	394,568		
旅 費 交 通 費	677,400		
交 際 費	7,884		
借 室 料	1,222,800	III 事業外収入	
福 利 厚 生 費	36,176	賛 助 会 費 収 入	825,000
水 道 光 熱 費	166,653	個 人 会 費 収 入	72,000
広 告 宣 伝 費	110,900	受 取 利 息	88
会 議 費	731,332	雑 収 入	0
諸 会 費	455,000	受 入 配 当 金	1,500
支 払 手 数 料	41,767	会 議 負 担 金 収 入	<u>175,000</u>
リ ー ス 料	163,020	事業外収入計	<u>1,073,588</u>
支 払 報 酬 料	390,000		
ホームページ管理維持費	64,240		
雑 費	0		
一般管理費計	<u>8,651,241</u>		
III 事業外費用			
雑 損 失	0		
事業外費用計	<u>0</u>		
IV 法人税等			
	<u>80,322</u>		
当 期 純 利 益	<u>-41,049</u>		
費用合計	<u>11,200,556</u>	収益合計	<u>11,200,556</u>

日本工業塗装協同組合連合会

財 産 目 録

令和5年7月31日

一資産の部

I 流動資産

現金及び預金

現 金
定期預金
普通預金

三井住友銀行 上野支店
三井住友銀行 上野支店
三菱UFJ銀行 大伝馬町支店

207,701
577,800
3,309,140
3,172,341

現金・預金計

7,266,982

その他の短期資産

未 収 金
前 払 金
流動資産計

日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株)他
品川インターティマネジメント(株)他

528,472
105,980

7,901,434

II 固定資産

無形固定資産

電話加入権

122,800

122,800

外部出資金

全国経済事業協同組合連合会

50,000

50,000

固定資産計

172,800

資産計

8,074,234

二負債の部

I 流動負債

預 り 金
未 払 法 人 税

所得税

8,380
80,000

流動負債計

88,380

II 正味資産

7,985,854

剰 余 金 処 分 案

令 和 4 年 8 月 1 日 か ら
令 和 5 年 7 月 31 日 ま で

I 当期未処分剰余金

前期繰越剰余金	759,103
当期純利益金	△ 41,049
当期処分剰余金	<u>718,054</u>

II 剰余金処分額

法定利益準備金	100,000
特別積立金	100,000
教育情報費用繰越金	50,000
剰余金処分額計	<u>250,000</u>

III 次期繰越剰余金

468,054

上記のとおり第48期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び
剰余金処分案を提出いたします

令和5年8月8日

日本工業塗装協同組合連合会

会 長	高 橋 正	常 任 理 事	岡 田 勇 一 郎	理 事	林 幹 敏
副 会 長	吉 川 孝	常 任 理 事	小 柳 拓 央	理 事	堀 口 た か 子
副 会 長	石 川 政 男	常 任 理 事	辻 涼 樹	理 事	堀 切 義 昭
副 会 長	山 田 和 宏	常 任 理 事	坂 本 潤 一	理 事	村 田 範 浩
副 会 長	妹 尾 和 彦	常 任 理 事	瀬 戸 裕 昭	理 事	五 十 嵐 亨
副 会 長	原 谷 隆 清	常 任 理 事	樋 口 一 夫	理 事	加 藤 雅 俊
副 会 長	小 畑 啓 介	常 任 理 事	藤 木 裕 二	理 事	川 西 正 克
		常 任 理 事	稲 垣 秀 樹	理 事	大 内 田 昭 次
		常 任 理 事	西 薫 貴	理 事	田 村 啓 太 郎
		常 任 理 事	黒 坂 俊 之		
		常 任 理 事	稲 田 健		

監 査 報 告 書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、日本工業塗装協同組合連合会から受領した令和4年度財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案を監査した。

1 監査方法の概要

会計監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取その他相当な方法を用いて調査した。

2 監査結果の意見

(1) 財産目録、貸借対照表、損益計算書は、連合会の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している。

(2) 剰余金処分案は法令及び定款に適合している。

令和5年8月17日

日本工業塗装協同組合連合会

監 事 岸 太 郎



監 事 小 川 琢 也



【第2号議案】

令和5年度事業計画書

自 令和5年8月 1日

至 令和6年7月31日

昨年度の上期は、なおも新型コロナウイルスの感染の影響が続いたが、ウイズコロナの状況下で経済は徐々に動き出し、下期には感染症法上の5類に引き下げられ、行動制限のない日常に戻ったが、エネルギー価格や原材料価格の急激な値上がりが経営に対して大きな負荷となった一年であった。

我々工業塗装業界は、あらゆる業界、製品と密接に、また広い裾野で結びついているため、景気の回復なしには、立ちいかない面もある。コロナ禍で疲弊した経済を立て直すためにも、国の責務として、GDP減少分を財政出動で補い、かつ可処分所得を短期的に増大させることにつながる減税政策を実施すべきである。

2023年中小企業白書では、「中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境が、激変する時代を乗り越えるため、価格転嫁に加えて、GXといった構造変化を新たな挑戦の機会と捉えた投資の拡大に取り組み、生産性向上や賃上げを促進していくことが重要」として、以下を提言している。

- ・ 競合他社と異なった価値創出の実現が、企業の成長に繋がる。
- ・ 若い担い手による事業承継が事業再構築に繋がり、業績向上に寄与する。
- ・ 支援機関における能力向上と連携、伴走支援により経営課題が解決できる。

いずれにしても、事業の維持・成長のために、新たな取組みへのチャレンジと組織改革は欠かせない。

日本工業塗装協同組合連合会は、上記状況を鑑みて、傘下組合員の作業改善や生産の効率化の取組みを支援し、経営基盤の充実に結びつく活動を第一として、下記事業活動を推進したいと考えている。

- 1、 塗装技能コンクールの充実や技術講習会の実施、工場見学会の開催など研修、研鑽の機会を増やすことと最新技術情報を提供することで、より高いレベルの工業塗装技術を追究するとともに、全体の底上げを図る。
 - 2、 環境問題、化学物質規制問題など、社会、行政、取引先等から求められている課題に対して、関係省庁とも情報交換を密にすることで、傘下組合員の安心・安全の体制づくりを支援する。
 - 3、 ジュニア会を支援するとともに、「工業塗装ともの会」の活動を通して、将来、業界を担う若い世代に対して、各地域を横断したネットワークづくりを支援し、次代の連合会の活性化のベースを作る。また、未組織地域における組合の設立、未加入事業者の組合への加入を推進する。
 - 4、 若者や外国人の雇用、女性の塗装現場への進出などに関する課題を明確にするとともに、関係省庁の支援を受けながら、各会社の人材確保・育成を支援する。
- 以上、取り組むべき課題は多岐にわたるが、中長期方針に基づき、組合員各社の協力を仰ぎながら、着実に事業を推進していきたい。

令和5年度予算(案)

自 令和5年 8月 1日 至 令和6年 7月31日

収入の部					
科 目	令和4年度予算	令和4年度決算額	対予算状況	令和5年度予算案	摘 要
I 事業収入					
広告収入	6,110,000	6,160,000	100.8%	6,160,000	工塗連ニュース掲載広告
保険集金事務収入	190,000	295,124	155.3%	290,000	オンユウ・全中制度普及推進費
購読料収入	60,000	65,664	109.4%	65,000	購読会員会費を含む
講習会受講料	30,000	20,180	67.3%	45,000	塗装技術講習会
事業収入計	6,390,000	6,540,968	102.4%	6,560,000	
II 賦課金等収入					
賦課金収入	3,648,000	3,586,000	98.3%	3,576,000	167社(-4)
賦課金収入計	3,648,000	3,586,000	98.3%	3,576,000	
III 事業外収入					
賛助会費	800,000	825,000	103.1%	850,000	年会費50,000円*17社
個人会費	72,000	72,000	100.0%	48,000	年会費24,000円*2社
受取利息	100	88	88.0%	100	銀行預金利息
受取外部出資金配当金	1,200	1,500	125.0%	1,500	全国経済事業(協)配当
会議費負担金収入	350,000	175,000	50.0%	350,000	理事会参加費
雑収入	0	0	0.0%	0	
事業外収入計	1,223,300	1,073,588	87.8%	1,249,600	
収入の部合計	11,261,300	11,200,556	99.5%	11,385,600	

支出の部					
科 目	令和4年度予算	4年度決算額	対予算状況	令和5年度予算案	摘 要
I 事業費					
外注費	1,500,000	1,827,430	121.8%	1,500,000	工塗連ニュース印刷他
慶弔表彰費	250,000	120,000	48.0%	250,000	
総会全国大会費	100,000	0	0.0%	500,000	
製販装連絡会費	100,000	112,612	112.6%	100,000	
ジュニア会補助金	100,000	100,000	100.0%	100,000	
塗装技能大会補助金	300,000	150,000	50.0%	150,000	
研修会開催事業費	300,000	200,000	66.7%	300,000	
事業費計	2,650,000	2,510,042	94.7%	2,900,000	
II 一般管理費					
給料 2名	3,000,000	2,857,067	95.2%	3,000,000	
賞 与	700,000	700,000	100.0%	700,000	
通信費	600,000	632,434	105.4%	600,000	電話料・切手代・宅配料
事務用品費	450,000	394,568	87.7%	400,000	コンピューター等・コピー費・文具費
旅費交通費	500,000	677,400	135.5%	500,000	通勤費・出張費
交際費	10,000	7,884	78.8%	10,000	
借室料	1,230,000	1,222,800	99.4%	1,230,000	
福利厚生費	25,000	36,176	144.7%	36,000	労保・雇用保険事業主負担分
水道光熱費	155,000	166,653	107.5%	165,000	水道・電気
広告宣伝費	160,000	110,900	69.3%	110,000	塗料報知他広告料
会議費	500,000	731,332	146.3%	500,000	会議用会場費他
諸会費	280,000	455,000	162.5%	350,000	関係団体会費
支払手数料	35,000	41,767	119.3%	35,000	会計・振込手数料他
リース料	200,000	163,020	81.5%	200,000	
支払報酬料	400,000	390,000	97.5%	400,000	顧問料・会報原稿料・税務申告料
雑 費	15,000	0	0.0%	10,000	
ホームページ維持費	96,000	64,240	66.9%	96,000	(株)ダーツ・NTTドコモ(ぷらら)
雑損失	0	0	0.0%	0	
予備費	55,300	(41,049)	-74.2%	43,600	
一般管理費 計	8,411,300	8,610,192	102.4%	8,385,600	
III 税等					
1 法人税等	200,000	80,322	40.2%	100,000	法人税 都民税、事業税
支出の部合計	11,261,300	11,200,556	99.5%	11,385,600	

【第3号議案】

経費の賦課及び徴収方法

I 本連合会の令和5年度の賦課金の総額は金 3,576,000 円とし、次の方法により徴収する。

1. 賦課率(差等割)

構成員1社につき

1人～9人	月額1,000円 (年額 12,000円)	101	計	1,212,000	
10人～19人	月額2,000円 (年額 24,000円)	37	計	888,000	
20人～29人	月額3,000円 (年額 36,000円)	16	計	576,000	
30人～49人	月額5,000円 (年額 60,000円)	9	計	540,000	
50人～99人	月額7,000円 (年額 84,000円)	3	計	252,000	
100人以上	月額9,000円 (年額 108,000円)	1	計	108,000	
合 計		会社数	167	金額	3,576,000

2. 徴収方法

1年を4期(8月～10月・11月～1月・2月～4月・5月～7月)に区分し、それぞれの期首までに各団体毎に一括して納入するものとする。

【第4号議案】

借入金の最高限度額

本連合会の令和5年度借入金残高の最高限度額は金1千万円とする。